

# NEWS LETTER

## 横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

TEL045-201-8620 FAX045-201-1620

HP：<http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/archives/>

E-mail:saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp



2022年11月発行 No.66

### 役員挨拶



代表 河西 英彦（鶴見区災害ボランティアネットワーク）

先の総会において代表に推挙頂き思いを新たにいたしています。コロナ禍であっても災害は躊躇しない、災害ボランティアネットワークの使命は、いかなる時も災害への備えを怠ってはならない！災害の多発化、激甚化、広域化に対応するための18区の連携が必須です。ネットワーク会議の原点に立ち返り、各区の災害ボランティア組織の充実、行政・社協・ネットワークの三者連携は充実しているか、被災時の役割分担と連携は？各区で今一度原点に戻り、近隣区との連携、そして横浜市全体の連携の在り方を再構築しなければならない。リアルな会議が憚れる中、WEB会議を利用すると共に、災害ボランティアセンター業務にICTを導入する動きが顕著です。導入には個人情報取り扱いをクリアするためにも、役割分担の明確化が求められています。共有すべき情報と守るべき情報の区分を互いに理解する事、抱え込みをなくし被災者のために広範な気配りを前提に、平時より備えることを目指します。各位のご協力をお願い致します。

副代表 外山 薫（ガールスカウト横浜市連絡協議会）

1995年の阪神淡路大震災では全国から大勢のボランティアが被災地に駆け付け、災害ボランティアの重要性が広まり、ボランティア元年となりました。特性を活かしネットワークを通じて、より迅速に動けることを目標に、横浜災害ボランティアネットワーク会議が立ち上がりました。ボランティア団体有志から始まった活動も社協を通じて地域に広まり、今では横浜市内18区で地域防災拠点と結びつき、災害時におけるネットワークが広がっています。災害は一日では終わりません。地域防災拠点の方達も被災者となります。全国から駆け付けるボランティアの力を有効に活かすために、災害ボランティアネットワークがあります。日常が非日常になったとき冷静に対処できるスキルを身に着け、災害時に備えましょう。

副代表 乾 英昭（泉区災害ボランティア連絡会）

皆様ご存知の通り、災害ボランティアセンターは災害が発生したら、被災した方々への助け合い、また復興・復旧の支援の為、多くのボランティアをコーディネートをする所です。その災害ボランティアセンターも皆様の支援で成り立っています。皆様と共に災害ボランティアセンターを盛り立てていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



# 台風15号 静岡市災害ボランティアセンター 被災地支援派遣報告

派遣期間 令和4年10月19日(水)～23日(日)

報告者：横浜市社協 市民活動支援課 山中 大輔(横浜災害ボランティアネットワーク会議 事務局)

9月22日に台風15号により被災した静岡市社協からの要請を受け、横浜市社協から静岡市災害ボランティアセンターの被災地支援に派遣されましたので、被災地での活動の様子を報告します。

静岡市災害ボランティアセンターでは、立ち上げ当初、紙の受付票でニーズを記録していましたが、サイボウズ社の支援を受け、ICTを活用した災害情報システムを使った運営に移行しました。その際、横浜市社協・18区社協で構築したものと同様のニーズ管理アプリ等が活用され、現地の社協職員に使い方の説明も行いました。災害情報システムを活用することで効率的な運営につながっています。



静岡市内の被災状況まとめ

9月23日、静岡県内23市町に災害救助法が適用されました。静岡市内では床上浸水2,975棟、床下浸水1,162棟の被害がありました。

静岡市社協では、3か所の災害ボランティアセンター、2つのサテライトが開設されました。横浜市社協は主に葵区センター(西ヶ谷サテライト)に派遣され業務に従事しました。



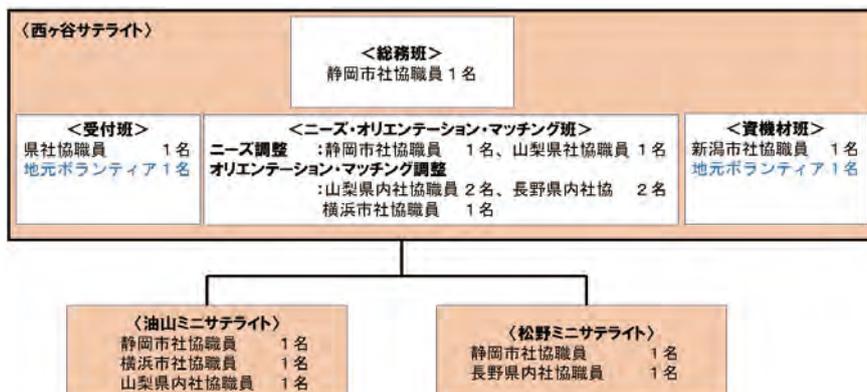
野球場の駐車場にプレハブとテントを設置して、静岡市葵区災害ボランティアセンター(西ヶ谷サテライト)が開設されました。



道端には、撤去された土砂が入った土のうが積み上げられていました。

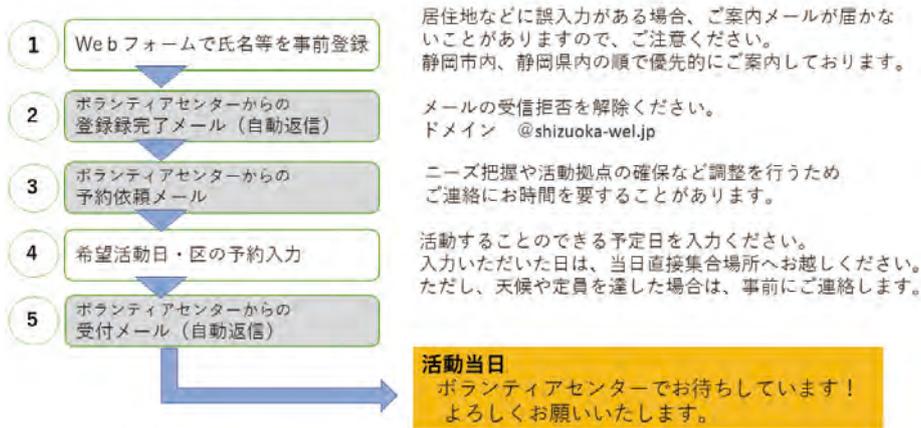
## 静岡市葵区災害ボランティアセンター(西ヶ谷サテライト)体制

令和4年10月19日(水)～23日(日)



地元のボランティアの方々は、主に受付班と資機材班で活動をしていました。

## ボランティア登録から参加までの流れ



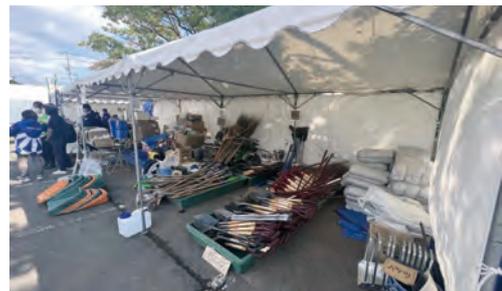
災害ボランティア活動を希望する方は、静岡市社協ホームページからwebフォームで事前登録を行います。10月24日時点では、静岡県内在住者を中心に延べ3,882名の登録がありました。事前登録者にメールで活動日を案内し、活動予約フォームより活動の申込みをしてもらいます。活動日当日は、来所時に二次元コードを読み込んでもらい、当日受付を行います。



当日受付を終えたボランティアは、待機場所に異動し、ニーズごとに必要な人数でグループ分けをします。センターから遠く移動の時間がかかるニーズからグループ分けを行っていました。活動内容の9割が自宅などの土砂撤去でした。



グループに分かれた後、活動内容や活動の際の注意事項の説明を受けます。資材を準備し、徒歩や車に乗り合って活動先に向かいます。



ボランティア数が100名規模になると、資機材の貸し出しも膨大な数になります。ボランティアが到着した後の片付けでも、地元ボランティアの協力が欠かせません。

10月22日(土) V 予定人数 109人		氏名	活動時間	活動内容	人数	備考	トータル	活動内容
1				集合	8		750	土石清除
2				集合	10			土石清除
3				〃	5			床下土砂出し
4				〃	5			〃
5				〃	5			土石清除
6				〃	5			〃
7				徒歩	576			土石清除
8				集合	426			〃

### まとめ

横浜市社協・18区社協が構築した災害情報システムと同様のものが実際に活用された現場の業務に従事する機会を得られ、運営方法や改善点も学ぶことができました。今後の横浜市における災害ボランティアセンターの運営体制に活かしたいと思います。

また、大勢のボランティアが災害ボランティアセンターに来所した場合、受付方法の案内、活動先への送り出し、資機材の引き渡し・返却等に、多くのスタッフが必要なことがわかりました。会員の皆様には横浜で災害ボランティアセンターが立ち上がった際は、運営のサポートにもご協力くださいますようお願いいたします。

**令和 3 年度 会員研修会 報告****テーマ：「災害時のネットワークについて 常総市の水害対応に学ぶ」****講師：横田能洋氏（茨城 NPO センターコモンズ 代表）****日時：令和 3 年 6 月 19 日（土）**

茨城 NPO センターコモンズの代表横田能洋さんを講師にお招きし、常総市の水害対応から始まった災害時の支援ネットワーク「助け合いセンター juntos」の活動を中心にお話を伺いました。juntos は災害ボランティアセンターが閉所した後も、復旧、復興支援、まちづくりの活動を続けています。また、自らの経験を活かして、他の災害被災地への支援やサポートも行っています。

被災した時の身近な相談先として民間ネットワークが重要であること、事前に県域などの大きな枠組みで官民の協力体制を作っておくことで災害時の様々な変化に適応していけることなどをお話いただきました。横浜でもさらに取組みを進めていくべき課題であることを再認識した研修会でした。

（NPO 法人かながわ 311 ネットワーク 伊藤朋子記）

**令和 4 年度 会員研修会 報告****テーマ：「横浜市避難ナビ（ハザードマップや避難所の確認、マイ・タイムラインの作成など）」****講師：水谷 大士氏（横浜市総務局危機管理室地域防災課担当係長）****日時：令和 4 年 6 月 24 日（金）**

今年度の研修会ではスマートフォンアプリ「横浜市避難ナビ」の紹介をいただきました。このアプリは、避難所の経路検索、ハザードマップの確認、水害の仮想体験、一人ひとりの発災時の避難計画「マイ・タイムライン」を作成することができます。発災時には、アプリへの登録内容に応じて避難情報の通知が届きます。

詳しくは横浜市役所ホームページをご覧ください。

横浜市避難ナビで検索

**新しく今年度運営委員となった会員の紹介****公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク****設立：2013 年 4 月 17 日 公益法人認定：2014 年 3 月 6 日**

災害救援ボランティア推進委員会が主催する「災害救援ボランティア養成講座」を修了し、セーフティリーダー（通称：SL）の認定を受けたメンバーで構成されている団体です。

近年、日本列島は、数々の災害に見舞われており、災害発生直後には行政支援が届かない「空白の時間」が生じるといわれています。この「空白の時間」にこそ、私たち SL は真価を発揮します。「生き残らなければ何も始まらない」を合言葉に、災害救援に必要な「知識」と「技能」を身に付け、災害発生後の混乱期を少しでも軽減するための防災リーダーとして活動しています。

**連絡先**

東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル 3 階

電話 03-6822-9900 FAX 03-3556-8217 E-mail : sl@saigai.or.jp

URL : <https://www.sl-saigai.com/>

団体のホームページは

こちら→

